

クサトベラ

科名 クサトベラ

別名 テリハクサトベラ

学名 *Scaevola sericea*



区分 木本類

分布 鹿児島（種子島・屋久島以南）、小笠原、
中国南部、東南アジア等

葉の形 さかさ卵形

葉の縁 全縁、鋸歯

葉の先 凹形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形

実の種類 核果

花・萼色 白色

海水や強風によく耐え、海浜の砂地、岩石の間などに生育し、高さ2mに達する常緑の低木です。枝はまばらに分かれ、小枝は太く径1cmにもなりますが、もろくて折れやすい木です。葉は枝先に集まり、卵状の柔らかいへら状で、艶があり、長さ10-15cm、幅4-6cmの大きな葉をもちます。花は腋生し、白色から黄色に変わります。